



↑ 母屋の南面 屋根、外壁、サッシ、玄関建具などは一新した。



↑ 母屋の東面 LDから東の庭にウッドデッキが延びる。庭はバスコートの目隠し壁。

住みつなぐ家

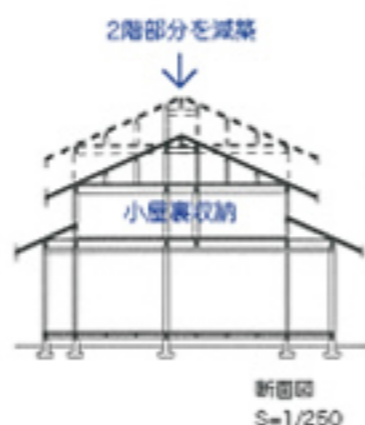
敷地は、稲沢市郊外の農家が点在する地域。築40年になる母屋は、今は亡きご両親が釘1本打たぬよう大切にされてきたもの。隣接した離れに住む施主は、一時立替えも検討されたが、ご両親の思いや、太く確かな木材を見て、リフォームを選択された。

母屋は、土壁、瓦屋根のこの地域にある典型的な造り。夏は風通しが良いが、冬は大変冷え込むのである。子育てを終え、定年を迎えられたご夫婦からは、冬暖かく、快適で、古民家のような家になりたいとご依頼を受けた。

また、これまで住んでいた離れは、これからご子息のご夫婦がリフォームをして住むことになっている。各世代が家を引き継ぎリフォームしながら住みつなぐことになった。

計画で配慮したポイント

- ・夫婦2人には広すぎる母屋。使うことの無い2階を減築して、耐震補強を容易にする。
- ・屋根、外壁、床下の断熱を全面的に行う。また、屋根、外壁の通気もできるようにする。
- ・今後の生活を見据え、寝室、トイレ、洗面、浴室、LDKへの導線をコンパクトにまとめる。
- ・キッチン、洗面、浴室、トイレなどを一新し、LDKや寝室には床暖房設備を設ける。
- ・趣味の料理など余暇を楽しむ空間を充実させる。
- ・古く堅牢な構材材を積極的に生かし、新築にはない魅力を生み出す。



〈建物データ〉
所在地：愛知県稲沢市
築年数：昭和51年（1976年）
建て方：戸建住宅
構造・階数：木造 平屋建て+小屋裏
リフォーム部分の面積：136㎡
工事期間：5ヶ月
工事完了年月日：平成29年3月

↑ 母屋の南面 居室として使わない2階の屋根を下げ、小屋裏収納とした。また、屋根を軽量化したため耐震補強が容易になった。



↑ 改修前の母屋 延べ床面積60坪 この地域の農家に見られる典型的な造り。これから住むご夫婦2人には広すぎた。

↑ 改修前の台所 内部は、釘1本打つことが無く大切に住まわれていた。



↑ 解体中の母屋の2階 屋根を下げるため、小屋裏を取り外す。

↑ 取り外された小屋組 柱を約1.2m短くした後、小屋裏を築す。

↑ スケルトンになった軸組 基礎、壁を耐震補強し、耐震改修の助成を受ける。



4

↑ LD 既設の小屋根の丸木を見せた。上部吹抜けはロフトにつながる。2人の生活に程よい大きさのダイニングテーブル。リビングには小ぶりのソファを置く予定。



玄関 5



LDと居間とは対角に視線が通る 6



7

↑ 洗面は寝室とLDの中間にあり、短い導線ですぐ。浴室の東にはバスコートをつけ、入浴を楽しむ。



8

↑ 高い天井の寝室。東の窓からは朝日が射し込む。脇にトイレと洗面を設けた。



9

↑ 居間上部の2階床組にも丸木の梁が使われていた。これまで隠れていた木軸組を見せることで、材質感のある空間になった。

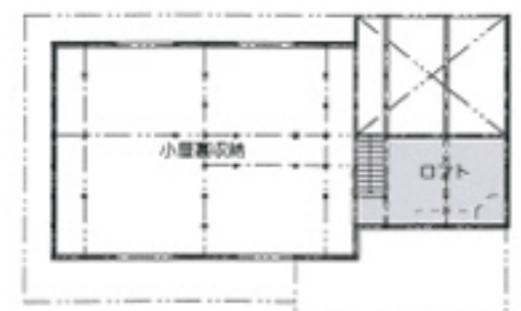


10

↑ 居間は南に面しており冬は暖かいく気持ちが良い。西側の和室（仏間）は仕上げを直す程度にとどめた。



2階平面図 (改修前)



2階平面図 (改修はグレーの部分)



1階平面図 (改修前) S=1/250



2階平面図 (改修はグレーの部分) S=1/250